

## 2022年度薬学部薬学科「実務経験のある教員等による授業科目」

科目名	担当教員名	配当学年	開講期	必修・選択	講義・演習・実習	単位数	実務経験のある教員による授業科目
国際関係論	温井 鋼哲	1	2022年度 前期	選択	講義科目	2	日本の国策シンクタンクで政策研究を行った経験を持つ。
医療人	光本 泰秀、宇佐見 則行、石川 和宏	1	2022年度 前期	必修	講義・演習	1.5	石川和宏、佐々木敏之、小林星太、西上 潤、三ツ間泰弘、高橋喜統薬剤師業務に携わった経験を持つ教員が、薬剤師の社会的役割、各領域における業務内容等に関する基本的知識を講義する。松田琴美、堀 有行、辻 裕之、谷内裕美子、竹下欣吾、中川明彦大学病院において現役で活躍している医師、看護師、栄養士が、医療人としての各々の使命、多職種連携の意義とその実践について講義する。
生化学 I	内手 昇	1	2022年度 前期	必修	講義・演習	1.5	薬局での実務経験を有する内手教授が、患者の体内で起こっていることを分子レベルで理解できるように学習を支援する。
北陸の文化と社会	長谷川 孝徳	1	2022年度 後期	選択	講義	2	博物館で歴史・文化・保存科学担当の学芸員として勤務した経験を有する教員が、受講生に地方文化の特性などをわかりやすく解説する。
経済学	温井 鋼哲	1	2022年度 後期	選択	講義	2	日本の国策シンクタンクで政策研究を行った経験を持ち、その経験を活かして研究型で学生に文献を調べたり分析したりする授業を行う。
早期体験学習	石川 和宏	1	2022年度 後期	必修	実習・演習	1	1. 実務家教員名：石川和宏、岡田守弘(病院薬剤師としての実務経験を有する)2. 実習内容：医療施設等への見学研修時に引率して実務経験を踏まえた補足説明等を加えることにより学習効果をより高めることに寄与する。また、必要に応じて、実際の臨床場面をイメージさせながら実践に即した助言等を与えることで、SGDにてより積極的な議論ができるように努める。3. 授業形態：実習、演習、及び遠隔授業
生化学系実習	内手 昇、鍛冶 聡、山崎 眞津美、大島 京子、倉島 由紀子	2	2022年度 前期	必修	実習	1.5	薬局で実務経験を有する内手教授が、生体分子を分析するための基本的な実験手法について習得できるように学習を支援する。
看護学	石川 倫子、桜井 志保美、松本 智里、中田 弘子、紺家 千津子、牧野 智恵	2	2022年度 後期	選択	講義	1.5	看護師資格を有する教員(石川、紺家、松本、牧野、桜井、中田)が医療施設および保健・介護福祉施設等での実務経験に基づき、看護師の本来の役割と看護の基盤となる理論、現代の看護の特徴および機能と倫理的な課題に関して講義する。
人間学 I (生と死)	石川 和宏、政氏 藤玄	3	2022年度 前期	必修	講義・演習	1	1. (1)実務家教員名：石川和宏(病院薬剤師としての実務経験を有する)(2)外部の実務経験者：1名の病院薬剤師、1名の薬局薬剤師、及び1名の行政薬剤師2. 授業内容：各担当者が実務経験を踏まえ、実際の臨床場面をイメージさせながら実践に即した具体的な職業倫理に関して講義することで理解を促し、SGDにてより積極的な議論ができるように努める。3. 授業形態：講義、演習、及び遠隔授業
機能形態学Ⅲ(ホメオスタシス)	内手 昇、高野 克彦	3	2022年度 前期	必修	講義	1	①高野 克彦、②タンパク質・ペプチド系ホルモンによる調節機構、オタコイドによる調節機構、サイトカイン・増殖因子による調節機構、人体解剖学習、③講義・演習・実習
薬理学Ⅱ(臓器別薬理)	高橋 達雄、野村 政明	3	2022年度 前期	必修	講義	1	薬物治療における医薬品の使用とその作用機序が結びつくように解説する。(講義：野村政明)
高齢者の心理・行動	内手 昇、畑 友佳子、石川 和宏、林 洋一	3	2022年度 前期		演習	1	病院薬剤師として実務経験を有する石川教授、並びに薬局で実務経験を有する内手教授が、現場での経験を活かして、SGDやロールプレイなどを通して、患者と医療人がコンコダスなパートナーシップを形成するためのコミュニケーションについての学習を支援する。心理カウンセラーとしての実務経験を有する林教授が、患者の心理・行動に関する理論的背景をもつて、初歩的な薬剤師に必要なコミュニケーション能力の醸成を図る。本学卒業生で薬剤師の橋本昌子氏がゲストスピーカーとして、超高齢社会における薬剤師の果たすべき役割の現状、自身の取り組みについて紹介する。
薬理・薬物治療Ⅳ	野村 政明、佐藤 友紀	3	2022年度 前期	必修	講義	1.5	薬物治療における医薬品の適正使用について、現状を踏まえて説明する。(講義：野村 政明)
プロセス化学	荒川 靖、尾形 篤太郎	3	2022年度 前期	選択	講義・演習	1.5	第9回～11回の講義では、金剛化学株式会社(富山県)で研究部 部長を長く勤められている横田 昌幸 先生をお招きし、会社で実際に行われている業務を題材としてパワーポイントを用いた講義を行う
医療英語	石川 和宏	3	2022年度 後期	必修	講義・演習	1	1. 実務家教員名：石川和宏(病院薬剤師としての実務経験を有する)2. 授業内容：薬剤師業務に関する英文を題材にして、実際の臨床場面をイメージさせながら実践に即した具体的な専門職能に関して講義することで理解を促し、SGDにてより積極的な議論ができるように努める。3. 授業形態：講義、演習、及び遠隔授業
総合演習Ⅲ	高橋 達雄、木村 敏行、佐藤 友紀、野村 政明、三浦 雅一、池田 啓一、松尾 由理、高橋 寿明、佐藤 安訓	3	2022年度 後期	必修	演習	1	薬物治療における医薬品の使用を実務経験を踏まえて、薬の作用機序が結びつくように解説する。(講義：野村政明)
薬事関連法規Ⅰ	大柳 賀津夫	3	2022年度 後期	必修	講義・演習	1.5	1. 教員名：大柳 賀津夫2. 授業内容：薬局薬剤師業務に携わった経験を持つ教員が、社会保障や医療保険制度、調剤報酬などについて講義や演習を行う。3. 授業形態：講義、演習
臨床薬学実習	高橋 寿明、佐藤 友紀、杉山 朋美、高橋 達雄、石丸 章宏、坂野 由宇希	3	2022年度 後期	必修	実習	1.5	(1)1. 北山 朱美 2. 薬剤師におけるフィジカルアセスメントの意義 3. 講義(2)1. 石丸 章宏 2. 心肺蘇生法 3. 実習
薬学演習Ⅱ	野村 政明、興村 桂子、木村 敏行、小藤 恭子、劉 園英、杉山 朋美、高橋 達雄、池田 啓一、宇佐見 則行、岡本 晃典、松尾 由理、佐藤 安訓	4	2022年度 前期～後期	必須	演習	2	薬物治療における医薬品の適正使用について、現状を踏まえて説明する。(講義：野村 政明)
人間学Ⅱ(心理)	石川 和宏、河野 俊寛	4	2022年度 前期	必修	講義・演習	1	河野俊寛：公認心理師として、大学での学生相談、小中学校・高等学校での教育相談、保護者からの相談への対応実績のある教員が、具体例を示しながら講義する。(河野俊寛)
薬物治療学Ⅱ(臓器別疾患)	岡田 守弘	4	2022年度 前期	必修	講義	1	1. 実務経験のある教員：岡田守弘(病院薬剤師としての実務経験を有する教員)2. 授業内容：医療現場を想定しながら実践に即した各疾患の薬物治療を解説する3. 授業形態：講義
薬物治療学Ⅲ(臓器別疾患)	高野 克彦	4	2022年度 前期	必修	講義	1	担当：高野 克彦(病院薬剤師としての実務経験を有する)精神・神経疾患、眼疾患の薬物治療に関する講義を行う。
薬剤師倫理	大本 まさのり、關谷 暁子、金澤 佑治、坂野 由宇希	4	2022年度 前期	必修	演習・講義	1	1. 担当教員：実務経験を有する教員は、大本 まさのり(薬局薬剤師)、關谷 暁子(臨床検査技師)、金澤 佑治(理学療法士)であり、坂野 由宇希が現役の薬局薬剤師の立場で担当する。また、現役の病院および薬局薬剤師、現役の医師、看護師としての実務経験を有する他大学の教員もゲストスピーカーとして講義に加わる。2. 授業内容：授業の担当者は、医療従事者もしくはその経験のある教員で構成する。受講生は、病院・薬局の臨床や在宅医療の現場で授業担当者が経験した事例を課題とし、グループで倫理的問題を討議する。また、大学病院での治験・臨床研究に精通された薬剤師が講義する。3. 授業形態：講義・演習
薬理・薬物治療Ⅷ	野村 政明	4	2022年度 前期	必修	講義	1.5	薬物治療における医薬品の適正使用について、現状を踏まえて説明する。(講義：野村 政明)
臨床薬学Ⅰ	野村 政明、劉 園英、佐藤 友紀、光本 泰秀、倉島 由紀子、高橋 達雄、三浦 雅一、松尾 由理、大黒 徹、高橋 寿明	4	2022年度 前期	必修	講義	1.5	薬物治療における医薬品の適正使用について、現状を踏まえて説明する。(講義：野村 政明)

2022年度薬学部薬学科「実務経験のある教員等による授業科目」

科目名	担当教員名	配当学年	開講期	必修・選択	講義・演習・実習	単位数	実務経験のある教員による授業科目
調剤学	岡田 守弘、毎田 千恵子、高野 克彦、石川 和宏、大柳 賀津夫	4	2022年度 前期	必修	講義・演習	1.5	1. 実務経験のある教員：石川 和宏、高野 克彦、岡田 守弘(病院薬剤師としての実務経験を有する教員)、大柳 賀津夫(保険薬局薬剤師としての実務経験を有する教員)2. 授業内容：実際の臨床場面を想定しながら実務家教員を主軸にしたメンバーにより実践に即した調剤学に関する専門職能を解説する
臨床英会話	井上 裕子、石川 和宏	4	2022年度 前期	必須	講義	1	1. 実務経験のある教員：石川 和宏(病院薬剤師としての実務経験を有する教員)2. 授業内容：実際の臨床場面を想定しながら実践に即した臨場感のある場面がイメージできるよう教育指導する。
実務実習事前学習Ⅰ	大柳 賀津夫、興村 桂子、毎田 千恵子、佐藤 栄子、野村 政明、大本 まさのり、杉山 朋美、高野 克彦、岡本 晃典、石川 和宏、岡田 守弘、多賀 允俊、坂野 由宇希	4	2022年度 前期	必修	実習・演習・講義	3.5	1. 担当教員：実務経験を有する教員は、大柳賀津夫(薬局薬剤師)、石川和宏(病院薬剤師)、大本まさのり(薬局薬剤師)、野村政明(病院薬剤師)、岡田守弘(病院薬剤師)、高野克彦(病院薬剤師)の6名で、北山朱美(薬局薬剤師)、多賀允俊(病院薬剤師)、坂野由宇希(薬局薬剤師)、小林星太(薬局薬剤師)、宮東利恵(病院薬剤師)の5名が現役薬剤師の立場で担当する。2. 授業内容：実務家(臨床系)教員が中心となり、病院・薬局での薬剤師業務の経験を取り入れた授業を実施する。また、日常的に臨床業務に携わっている現役薬剤師も学外講師として一部の授業を担当する。3. 授業形態：実習・演習・講義
薬物治療学Ⅳ(免疫と悪性腫瘍)	野村 政明、石川 和宏	4	2022年度 後期	必修	講義	1	薬物治療における医薬品の適正使用や現状を、実務経験を踏まえて説明する。(講義：野村 政明、石川 和宏)
栄養科学(セルフメディケーション)	杉山 朋美	4	2022年度 後期	必修	講義・演習	1	1. 担当者：学外講師(薬局薬剤師経験者)2. 授業内容：調剤薬局での業務経験で得られた食品と医薬品との相互作用に関する情報と、患者・顧客との相談対応の事例をもとに、食品と医薬品との相互作用(相互作用の機序、相互作用の具体例、薬局事例を用いた症例検討)について、実際の臨床場面をイメージさせながら、薬剤師としての適切なアドバイスや支援の方法をグループ討論をまじえて、実践に即して具体的に理解できるよう努める。3. 授業形態：講義・演習
薬局薬品学	大柳 賀津夫、坂野 由宇希	4	2022年度 後期	選択	講義	1	1. 教員名：大柳 賀津夫、坂野 由宇希2. 授業内容：薬局薬剤師業務に携わった経験を持つ教員が、保険調剤業務、セルフメディケーションや地域医療・地域保健などについて、経験を活かした授業を行う。3. 授業形態：講義
薬局経営学	大柳 賀津夫、坂野 由宇希	4	2022年度 後期	選択	講義	1	1. 教員名：大柳 賀津夫、坂野 由宇希2. 授業内容：薬局薬剤師業務に携わった経験を持つ教員が、薬局の管理や経営、調剤報酬算定などについて、経験を活かした授業を行う。3. 授業形態：講義
臨床生理学	濱田 敏彦	4	2022年度 後期	選択	講義	1	①濱田敏彦 ②臨床生理学の基礎及び応用。 ③講義
臨床薬学Ⅱ	野村 政明、興村 桂子、劉 園英、佐藤 友紀、光本 泰秀、高橋 達雄、三浦 雅一、岡本 晃典、松尾 由理、大黒 徹、高橋 寿明	4	2022年度 後期	必修	演習	1	薬物治療における医薬品の適正使用について、現状を踏まえて説明する。(講義：野村 政明)
臨床薬学Ⅲ	岡田 守弘、興村 桂子、佐藤 栄子、大本 まさのり、杉山 朋美、高野 克彦、岡本 晃典、石川 和宏、大柳 賀津夫、多賀 允俊、坂野 由宇希	4	2022年度 後期	必修	演習	1	1. 石川和宏、高野克彦、岡田守弘(病院薬剤師としての実務経験を有する教員)、大本まさのり、大柳 賀津夫(保険薬局薬剤師としての実務経験を有する教員)、多賀允俊(病院薬剤師に勤務するみなし教員)、坂野由宇希(保険薬局に勤務するみなし教員)、学外講師(病院薬剤師・保険薬局薬剤師)2. 授業内容：病院並びに保険薬局で調剤業務・製剤業務・DI業務・薬剤管理指導業務・治験管理業務・医療安全業務、在宅医療等の実務に携わっている薬剤師(みなし教員・学外講師)が自験例を呈示し、病態・薬物治療に関連する問題提起に対して、実臨床での経験した事柄を踏まえて解説する。
実務実習事前学習Ⅱ	大柳 賀津夫、興村 桂子、毎田 千恵子、佐藤 栄子、野村 政明、大本 まさのり、杉山 朋美、高野 克彦、岡本 晃典、石川 和宏、岡田 守弘、多賀 允俊、坂野 由宇希	4	2022年度 後期	必修	実習・演習・講義	3	1. 担当教員：実務経験を有する教員は、大柳賀津夫(薬局薬剤師)、石川和宏(病院薬剤師)、大本まさのり(薬局薬剤師)、野村政明(病院薬剤師)、岡田守弘(病院薬剤師)、高野克彦(病院薬剤師)の6名で、北山朱美(薬局薬剤師)、多賀允俊(病院薬剤師)、坂野由宇希(薬局薬剤師)、小林星太(薬局薬剤師)、宮東利恵(病院薬剤師)の5名が現役薬剤師の立場で担当する。2. 授業内容：実務家(臨床系)教員が中心となり、病院・薬局での薬剤師業務の経験を取り入れた授業を実施する。また、日常的に臨床業務に携わっている現役薬剤師も学外講師として一部の授業を担当する。3. 授業形態：実習・演習・講義
病院・薬局実習	光本 泰秀、石川 和宏	5	2022年度 前期～後期	必修	実習	20	実習先の医療施設に所属する指導者として認定された指導薬剤師の下で、薬剤師業務の実際を体験する実務実習である。
高度医療薬剤師演習	野村 政明、毎田 千恵子、大本 まさのり、高野 克彦、岡本 晃典、石川 和宏、大柳 賀津夫、岡田 守弘、政氏 藤玄、多賀 允俊	5	2022年度 前期	選択	講義・演習	5	学内：グループワークなどのアクティブラーニング型の授業に実務家教員がファシリテーターとして参加し、指導を行う(演習：石川和宏、大本まさのり、大柳賀津夫、岡田守弘、高野克彦、野村政明)学外：金沢医科大学病院にて、がん化学療法・緩和ケア、栄養管理、感染制御、生活習慣病領域の専門薬剤師資格を持つ指導薬剤師の下で実施する体験型実務実習(実習：政氏藤玄、多賀允俊、金沢医科大学病院薬剤師)
東洋薬学演習	劉 園英、川田 幸雄、光本 泰秀、手塚 康弘、田邊 宏樹	5	2022年度 前期	選択必修	講義・演習	5	外部講師1. 橋本英樹(はしもと医院・院長、漢方専門医)(漢方臨床応用特論、天然薬物薬効解析)(講義)豊富な実績と経験をもつ漢方専門医が、各疾病における漢方治療の臨床効果(実際の症例)に関する知識を講義する(臨床治療学)2. 越嶋実知代(越島漢方薬局・漢方専門薬剤師)(漢方特別講義)(講義)薬剤師業務に携わった経験を持つ教員が、処方箋授受から服薬指導までの流れに関する基本的知識を講義する(臨床薬理学)3. 本郷 幸彦(株式会社ツムラ・漢方開発研究管理)(漢方臨床応用特論、現代医療に役立つ漢方薬)(講義)漢方薬大手メーカー・漢方研究開発部の研究員が、医療用漢方エキス製剤の最新薬理薬効、漢方生薬企業の現状、漢方薬の有害事象と副作用、漢方薬と西洋薬の併用・注意点に関する基本的知識を講義する(臨床薬理・薬剤学)
健康医療薬学演習	光本 泰秀、鍛冶 聡、山崎 眞津美、三浦 雅一、池田 啓一、松尾 由理、大黒 徹	5	2022年度 前期	選択	講義・演習	5	① 北側智之((株)キリン堂・薬剤師)② 未病対策特論(授業計画参照)③ 講義、ワークシート④ 住谷 哲(日本生命病院・医師)⑤ 2型糖尿病治療の最前線(特別講義)⑥ 講義
					合計	85	